

全 員 協 議 会 記 録

平 成 2 9 年 1 0 月 2 4 日 ②

【開催日】 平成29年10月24日

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午後1時～午後1時10分

【出席議員】

議長	小野 泰	議員	伊場 勇
議員	大井 淳一朗	議員	岡山 明
議員	奥 良 秀	議員	河崎 平男
議員	河野 朋子	議員	笹木 慶之
議員	水津 治	議員	杉本 保喜
議員	高松 秀樹	議員	恒松 恵子
議員	中岡 英二	議員	中村 博行
議員	長谷川 知司	議員	藤岡 修美
議員	松尾 数則	議員	宮本 政志
議員	森山 喜久	議員	矢田 松夫
議員	山田 伸幸	議員	吉永 美子

【執行部出席者】 なし

【事務局出席者】

事務局長	中村 聡	事務局次長	清水 保
事務局主査兼庶務調査係長	島津 克則	議事係長	中村 潤之介
庶務調査係書記	小松 美緒		

【付議事項】

1 副議長の選挙について

午後1時 開会

小野泰議長 お待たせいたしました。それでは、ただいまから全員協議会を開催いたします。副議長の選挙は、議長選挙と同じでありますので、全員協議会の進め方は、先ほどの全員協議会と同様といたします。副議長の選挙について投票と指名推選の方法がありますが、申合せにより、どちらの方法になっても、被指名者の挨拶をこの場で行ってもらっております。したがって、まず、推選を受け、推選が一人であり、かつ全議員に異議がない場合は、指名推選の方法で、また推選が二人以上の場合は、投票の方法で行うこととしたいと思います。よろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）それでは、推選を受けたいと思いません。どなたか推選はありませんか。

河野朋子議員 矢田議員を推選したいと思います。

小野泰議長 ただいま河野議員から矢田議員を推選する発言がありましたが、ほかにありませんか。

杉本保喜議員 中村議員を推選したいと思います。

小野泰議長 ただいま杉本議員から中村議員を推選する発言がありました。ほかにありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）ほかにないようですので、被指名者は二人となりました。したがって、投票の方法により行うことになりました。それでは被指名者から御挨拶をしていただきます。挨拶の順番は、推選のあった順番に行います。まず、矢田議員、御登壇願います。

（矢田松夫議員登壇）

矢田松夫議員 連日連夜、そして今日も大変皆さん御苦労様です。まさか私がこの演壇に立つとは思ってもみませんでした。本当に青天のへきれきと申しましようか、私は野球でいえば絶対的なエースではございません。常に40年間、幸せ配達人として敗戦処理が主な任務でございました。また、二刀流もできません。ただ市民の皆さん方の幸せを願うことが私の唯一の政治指針であり、私の最も基本的な考え方でございます。今回立候補した大きな内容について一言だけ申し上げます。4年間やってきた議会のあり方調査特別委員会でのいろんな議題、決定したこと、これを更に皆さん方と一緒に、議長と一緒に、まい進する決意でございいます。一つ目には公明性のある、透明性のある議会をつくっていくこと、二つ目にはその中で市民の意見の把握をしていくこと、更にはそのことをもって、私たちの住んでみてよかった山陽小野田市をつくる政策提言をするのが、私たち議会での大きな役目であり、私に課せられた使命だと思っております。一つだけ矢田企画についての場面を移します。それは7月の初旬頃、私はある公道で中型の亀を見付けました。この亀は外に向かってはタカ、トンビ、カラス、そして公道でありますので車にひかれる、正に傷だらけの亀でした。しかしながら、この亀は頭を出し、手を出し、尻尾を出さなければ前に進まないわけです。私がたまたまいて、助けてあげたんですけれど、今この亀を見てみますと、本当に私たちに課せられた大きな試練が亀の二重写しになっております。だからこそ、私たちは傷が付こうと手を出し、足出し、首を出して正しい方

向に行くことが私たち、そして私に課せられた道だろうというふうに思っております。最後に皆さん方に私の決意の一端でありますけれど、議長が事故あるときには副議長というふうに書いてあります。そうでなくて皆さん方と一緒に、新しい山陽小野田市をつくるということが私の議長への使命だと思います。そういった意味では是非とも皆さん方の温かい御支援をいただく中で、皆さん方と一緒に議長中心に全国に誇れる山陽小野田市議会をつくっていくという、この決意を申し上げまして私の副議長への所信の一端を述べさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(矢田松夫議員降壇)

小野泰議長 次に、中村議員、御登壇願います。

(中村博行議員登壇)

中村博行議員 皆さんこんにちは。ただいま副議長に推選をいただきました中村でございます。私は多くを申すものではありません。副議長として議長を支える、月並みですけれども、それは第一の前提でございます。とはいえ、私にも様々やりたいこと、考えるところがございます。特に滞っております市民サービスの根源であります地域公共交通等々、行政がなかなかできない、そういったものに対してスピード感を持ってやれるように、議会として産業建設も前回委員長で任期半ばで完遂することができませんでした。ですからこれの思い残すところもありますし、それを議会全体として推進していく、そういった市民サービスを更に推進していきます。そういう行政の姿勢があればどんどん議会も応援して、これを全うできるようにという思いがあります。議会改革につきましては、これは当然のことながら、更なる議会改革、特に市民と歩むというような形のものにもっていきたい。新たに議会モニターの制度もありますので、そういったところも十分意見をお聞きしながら、議会改革を進めていくということはどなたも一緒でございましょうが、その辺を踏まえて、市民にしっかりとよく分かる議会というようなものを生み出していければというふうに考えております。多くを申しませんが、主にこの二つで私の所信といたしたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(中村博行議員降壇)

小野泰議長 以上で、被指名者の挨拶を終わります。最後に事務局に追加説明をさせます。

中村議会事務局長 副議長選挙は議長選挙と同様に立会人が二人以上必要です。つきましては、ただいま推選をした議員、河野議員、杉本議員にお願いしたらどうかと考えますが、いかがでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）それでは、よろしく願いいたします。それから、副議長選挙については投票の方法で行うこととなりましたが、立候補の規定は準用されておられませんので、御挨拶をされた議員以外の議員への投票も有効であります。以上でございます。

小野泰議長 それでは、これで全員協議会を終わります。

午後 1 時 1 0 分 散会
